香芝市長　福岡憲宏　様

トビイロウンカの発生による水田被害に対する申し入れ

２０２０年１１月４日

日本共産党香芝市委員会
青木　恒子
中井　政友

稲刈りの時期を迎えていますが、奈良県内の水田で、稲に寄生する害虫「トビイロウンカ」の被害が広がっています。日本共産党奈良県会議員団が聞き取り調査を行う中で、「今年は収穫も減ったし、お米の等級も下がりそうでダブルパンチや。」「70 年以上生きてきたけど、こんな被害は初めて。」「いつも頼んでくれるお宅に米を届けるどころか、自宅で食べる米も確保できるかどうか。」など厳しい状況をお聞きしました。

また、水稲共済の補償を受けようと思っても、被害が出たうちの 3 割は補償の対象外となっており、近年では任意加入となっていることから保険に入っていない農家も珍しくありませんでした。

奈良県病害虫防除所は、今年は例年よりも早い 6 月ごろに発生を確認し、7 月 31 日に注意報を発令し、防除を促す注意報を出しています。ところが、9 月以降に急激に被害が拡大しています。9 月 17 日に第 2 報を発令しましたが、9 月下旬に各市町村の発生圃場率は約半数に至っているとの事です。注意報に基づいて薬剤を散布した農家でも大きな被害が発生しています。

市として以下の事を直ちに取り組んでいただくよう求めるものです。

記

１、県病虫害防除所が出した防除を促す注意報が各農家へ行き届いていたのかを含め、市として被害の実態を調査し、把握すること。

２、市として被害を受けた米農家などに対して資金をはじめとする総合的な支援をおこなうこと。

３、市として今後の予防対策に万全をきすこと。

以上